

第31回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

1. 開催年月日 令和3年4月15日(木)
2. 時 間 午後3時30分～午後4時45分
3. 場 所 全員協議会室
4. 出席者 市長・教育長・企画部長・総務部長・市民生活部長・環境経済部長・
都市整備部長・福祉部長・こども支援部長・健康推進部長・
危機管理監・上下水道部長・議会事務局長・教育部長
5. アドバイザー 入間地区医師会 山岸医師
6. 事務局 秘書課 田口参事兼課長
広報課 林田課長
人事課 荻野課長
危機管理課 藤田課長、根本主幹、川村主査
中村健康福祉センター所長
須田健康推進部副参事
健康管理課 須田課長、吉田主幹

7. 議事概要

(1) 国内及び県内の発生状況について（資料1参照）

- ・4月13日現在、国内の感染者数506,272人の内、県内の感染者数は34,583人、その内、市内の感染者は547人である。また、県内感染者の療養状況等は、入院が476人うち重症者は30人、宿泊療養が334人、宿泊・入院予定と宿泊調整中が119人、自宅療養が432人、新規公表分が156人、退院・療養終了が32,349人、死亡が717人である。
- ・3月31日現在の市内感染者の療養状況等は、感染者数512人の内、入院が6人、宿泊療養が1人、退院・療養終了が505人である。

(2) 新型コロナウイルス感染症の現状と対策について

- ・新型コロナウイルス感染症の現状に対する認識について、アドバイザーに意見を頂戴しながら対策の検討を行った。

《まん延防止等重点措置について》

- ・現在、東京都、宮城県、京都府、大阪府、兵庫県、沖縄県にまん延防止等重点措置が適用されている。
- ・埼玉県は、本日15日、対策本部会議を開催し政府に、変異株による感染が増えている状況も踏まえ「まん延防止等重点措置」を要請する方向で検討するとしており、今後県の動向を注視していく。

◆対 策

- ・県の動向を注視していくとともに、感染防止対策の徹底。

《第4波について》

◆現 状

- ・メディアにおいて「大阪府のまん延防止等重点措置の適用は、第4波によるもの」、「第4波の始まりの可能性が高い」、「第4波目前である」など、様々な報道がされている。
- ・本市においても、今月に入り13日までに35人の感染が確認されており、20代から30代の感染者が17人と約半数を占めている。また、同居家族に陽性者がいるケースが6件と増加傾向にある。

◆対 策

- ・20代から30代の方も感染後の後遺症が残る確率は、60代以上の年齢層と変わらないと聞いており、「広報いるま号外」、「市公式ホームページ」等を活用して、20代から30代の方に対する注意喚起。

《変異株について》

◆現 状

- ・関西圏の感染急拡大は変異ウイルスが影響していると言われていた中、4月13日の全国の感染者は3,456人確認された。
- ・東京においては、510人の新規感染者の内、80人が変異ウイルスへの感染が確認された。また、変異ウイルスによるクラスターも確認されている。
- ・4月14日現在の県内の変異ウイルスの感染者は160人確認されているが、市町村別の人数については公表されていない。

◆対 策

- ・変異ウイルスに対しても3密（密閉、密集、密接）の回避、濃厚接触（マスクを着けず1メートル以内かつ15分以上の接触）の回避、マスクの着用、手洗いなど、これまで同様基本的な感染防止対策の徹底。

《クラスターについて》

◆現 状

- ・国の新型コロナウイルス感染症対策分科会会長は、新型コロナウイルスに感染する場所は、学生のコンパ、工場、外国人コミュニティなど人が集まるところで頻繁に変化し多様化していると、最近の特徴を挙げている。
- ・現在、本市ではクラスターの発生はない。

◆対 策

- ・感染リスクが高まる「5つの場面（①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間に及ぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り

替わり)」を再周知。

- ・家族に対する感染予防策の周知。

(3) ワクチン接種の検討状況について

- ・当市へのワクチン供給は4月26日の週に1箱、5月3日の週に4箱と決定した。
- ・最初の1箱は高齢者施設の入所者へ接種を行う。なお、4箱については、来月開始を予定している個別接種と集団接種に振分ける。
- ・広報いるま号外第12号でワクチン接種の予約から接種までの流れ、個別接種の実施医療機関と集団接種会場の一覧の周知を図っている。なお、第13号の号外で集団接種のスケジュールを周知する。
- ・入間CATV、FMチャッピーの共同で動画を作成しワクチン情報定期便として放送を開始した。

(4) その他

※各部長からの報告等

- ・前回の対策本部会議において希望を募ったマスクの配布について、福祉部で民生児童委員に28,000枚配布いただけることになった。
- ・新型コロナウイルス感染症対策の令和3年度補正予算（第3号）を4月19日付で専決処分するので、計上事業の早期着手に配慮されたい。
- ・広報いるま号外第12号については、2ページから4ページを新型コロナウイルスワクチンの特集で昨日14から16日の3日間で配布する。
- ・入間第一ホテルの昨日の宿泊利用者は18名で、昨日の県内9つの宿泊施設全体の利用者は328名である。県内の宿泊療養者は300人を超える日が続いている。
- ・教育部では各施設に対し変異ウイルスがまん延した場合の対策の検討を指示していたが、アドバイザーの意見を踏まえ現行の対策の徹底と、小中学校においては外部の者を校内に入れないようにあらためて指示する。
- ・修学旅行については、5月上旬に実施予定ものは延期、5月上旬以降に実施予定のものは再検討する。

※その他

特になし